

有限会社タカツ産業 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026 年 7 月 21 日

株式会社北洋銀行
函館中央支店

1. 基本情報

企業名	有限会社タカツ産業	
代表者名	小本 大祐	
所在地	北海道函館市昭和 4 丁目 13 番 13 号	
資本金	300 万円	
従業員	4 名 (2026 年 7 月現在)	
業種	機械製造・販売・リース業	
事業内容	「耳石標識装置」「飼育池清掃装置」「仔魚育成浮上槽」の製造・販売・リース・修理	
沿革	1998 年 2015 年 2025 年	資本金 300 万円で高津敏幸氏が設立 高津明美氏が 2 代目として代表取締役役に就任 小本大祐氏が 3 代目として代表取締役役に就任 現在に至る。

2. 経営理念

経営理念

海の安心・安全を守る。

私たち有限会社タカツ産業は、「海の安心・安全を守る」ことを使命とし、サケ・マス増殖事業を支える専用機械の開発・製造・リースを通じて、豊かな海と水産資源を守り、自然環境と地域社会の持続的な発展に貢献します。

(1) 現場第一

現場の声を大切にし、使いやすく、安全で信頼できる機械を提供する。

(2) 環境調和

海や河川の環境負荷を最小限に抑える技術・サービスの提供に努める。

(3) 専門性の継承と進化

先代から受け継いだ技術と経験を磨き続け、次世代へ引き継ぐ。

3. 事業概要

(1) サケ・マス増殖事業を支える専用機械メーカーとしての役割

有限会社タカツ産業は、北海道さけ・マス増殖事業協会および北海道が策定する「さけ・マス人工ふ化放流計画」に基づき活動する、各地域のふ化場や民間増殖団体に対し、専用機械を提供するメーカーである。

サケ・マス資源の維持・増大と沿岸漁業の振興は、北海道にとって重要な政策課題であり、北海道さけ・マス増殖事業協会は放流計画の原案作成や種卵需給の調整、ふ化・放流経費や施設整備費の助成などを通じて、増殖事業を総合的に支えている。

当社は、これらの公的な増殖事業が現場で着実に実行されるよう、設備面から支える役割を担っており、ニッチながら専門性の高い分野において、重要な位置付けを有する企業である。

(2) 製品・サービス内容とビジネスモデル

当社は、サケ・マスの孵化・育成の現場に不可欠な「耳石標識装置」「飼育池清掃装置」「仔魚育成浮上槽」等の、開発・製造・販売・リース・設置工事・アフターメンテナンスを一貫して行っている。

耳石標識装置は、稚魚の耳石に温度変化などを利用して標識を施し、成魚として回帰した際に耳石を解析することで、放流場所ごとの回帰状況や放流効果を把握するための中核的な装置である。また、飼育池清掃装置は孵化場の水槽内部を自動で清掃することで、現場の作業負担を軽減するとともに、衛生環境の維持に貢献している。

これらの製品を、販売に加えてリース・レンタルでも提供しており、設置工事や保守サービスを含めたトータルな提供体制により、高い付加価値と安定した収益基盤を構築している。

(3) 社会的意義と今後の方向性

当社の製品は、協会が参画する「さけ・マス広域連携体制構築推進事業」における耳石温度標識付き種苗の標識付与など、サケ・マス資源の科学的管理や放流効果の検証に用いられている。これにより、各河川の放流戦略の見直しや資源回復策の高度化に貢献するとともに、沿岸漁業の振興と地域経済の安定に寄与している。また、増殖事業は学校教育・社会教育の場での環境学習や食育とも深く関わっており、当社の事業は、次世代の資源保全意識の醸成にも間接的に資するものである。

今後も、現場の声を生かした装置の改良・新技術の導入に取り組み、サケ・マス増殖事業を設備面から長期的に支えていくことで、地域社会と水産業の持続的な発展に貢献していく。

4. サステナビリティへの取組

有限会社タカツ産業は、事業活動そのものが社会や環境と密接に関わっていることを認識し、サステナビリティを経営の重要なテーマの1つとして位置付けている。海に十分な水産資源を残すとともに、漁業活動が自然環境に与える影響を最小限に抑えるサポートを行うことで、長期的な企業価値の向上と持続可能な社会の両立を目指している。

(1) 環境面の取組

当社は、機械装置の開発・リースを通じて、水産資源の持続的な利用と海洋・河川環境の保全等に貢献している。現在、地球温暖化により海が環境が大きく変化しており、水揚げされる魚種も変化していることから、日本の水産資源や漁業経営に深刻な影響を与えている。とりわけ、海水温の上昇によりサケなどの主要な魚種の漁獲量が大幅に減少している。当社は、サケ・マス資源の科学的管理や資源量の把握に寄与する機械装置を開発・提供し、通じて、環境・資源問題の解決にも貢献している。

【飼育池清掃装置】**【耳石温度標識装置】**

出所: 有限会社タカツ産業 提供資料

(2) 社会面の取組

当社は、増殖を通じて健康的な稚魚の生産を支えているほか、安全に放流できる段階までの生育に寄与し、放流後の資源管理も行うことで、水産資源と海洋環境を守りながら、産業を継続させることに貢献している。

漁業組合等にレンタルした後も定期的なメンテナンスを実施しており、より安全で健全な資源の管理にも寄与している。突発的な機械の故障が起こった際にも迅速に対応できるよう、従業員の技術を継続的に高めており、その結果として漁業協同組合からは毎年安定的に受注が寄せられていることが当社の強みとなっている。

【遊泳力測定装置】

出所: 有限会社タカツ産業 提供資料

5. サステナビリティ目標

有限会社タカツ産業の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、有限会社タカツ産業の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、有限会社タカツ産業のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本の推進
目 標 ・ K P I	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。